

# いきいき男女共同参画

## 「私が見た日本の男女共同参画」

国際交流員 許 夢綺さん

国際交流員として赴任していた、許さんから見た日本の男女共同参画はどう感じられたのでしょうか。2年の任期を終え中国に帰国する許さんから寄稿いただきました。

### 飯山に来た頃

夫と娘を中国の北京に残し、飯山へ国際交流員として単身赴任で来た私を日本の皆さんは驚きました。

中国と日本は、それぞれの現実と社会背景が異なっていますから、驚くのも不思議なことではありません。

平成16年、同行して日本に



△昨年の菜の花畑での許さん

来た61名の中国の国際交流員は、大部分は女性で事情も同じです。女性単身赴任は、中国ではよくあることなので、誰もが不思議には思いません。

### 中国の家庭と共同参画

中国は、一九四九年十月の建国以来、各方面で女性と男性との平等権利保障を図ってきました。女性は、男性と同じように定年まで働き、女性が一生仕事を待つという事は一般社会通念として定着しています。日本の女性が結婚や出産・育児で仕事を辞めることは、中国では不思議なことには思われません。

女性は、広い分野で活躍していて、経済的にも自立しています。職場では、さ

まざまな困難に直面し、ストレスも大きいのですが、それらの困難に打ち勝つことや、新たな挑戦によって、女性は成長した喜びを味わうことができます。

男女共働きなので、家では、家事や子育ては、夫婦が分担でやるのが普通です。あまり残業がないので、先に家に着いた方が、料理を作るのが一般的です。一家揃って、夕飯を楽しみむひとときは、家族のコミュニケーションの大切な時間で、このような交流も家族の幸せを維持する重要な絆でもあります。育児の面においては、保育施設も充実していますから、夫婦は安心して働くことができます。多忙な家庭なら、家政婦さんを雇って、子供の面倒を見てもらったりしています。

### 素晴らしい人生を

日本の女性は、職場への進出が増えましたが、「夫は外で働き、妻は家庭を守

るべきだ」とか、「女性は男性を立てる役割を果たすべきだ」といった考えが、まだ世間では根強いようです。家庭や育児に専念するため、やむを得ず仕事を辞めることは、本当に残念に思います。夫も職場で昇進し、子供も一人前になり、やっと自分の人生を楽しむようになったときは、おそらく人生の大半は過ぎていくでしょう。

男性にとっても、女性にとつても、ただ一度きりの貴重な青春や人生は、過ぎたら二度と戻れないものです。女性は、世間の固定化された考えに縛られず、主役になって、自分の人生を自分の力で切り開いて歩むこと、いろいろなことに勇気を持って挑戦して、仕事と家庭の両立を図り、素晴らしい人生、光り輝いた人生を悔いのないよう生きることが大切です。



## 内閣府男女共同参画基本計画(第2次)閣議決定



重点分野を掲げました。また、主な内容として「政策・方針決定過程への女性の参画の拡大」「女性の再チャレンジの支援」「働き方の見直しを含めた仕事と家庭・地域生活の両立支援」「男女の性差に応じた性差医療の推進」「男性にとつての男女共同参画社会など幅広い事項を盛り込んでいます。

## 利用者団体連絡会総会開催

いいやま女性センター未来は、女性の仕事と家庭の両立をサポートする施設として、職業や家庭生活の知識や技能の修得のためのさまざまな事業をおこなっています。



パワーアップ講座・生活エンジョイ講座・ヘルス講座・教養講座を開催して大勢の方が受講されています。その講座の修了生が引き続き学んでいこうと自主グループを立ち上げて活動しているものもあります。

活動内容は利用団体の横のつながりや活動のつながりを深めて、利用しやすい館にしていくこと、講演会・文化祭・研修会等の開催の協力をするなどです。続いて新年度の役員の出が行われました。岸田紀久子さん・栗山典子さん・杉山栄子さん・大野さち子さん・浅野けさ江さん・津端喜代子さんが各ブロックから選出され、新年度の活動がスタートします。

## 冬の未来講座・ビーズアクセサリー講座

美しく輝くビーズでアクセサリーを作る講座を開催しました。ベネチアンビーズ・スワロフスキー・天然石・パールなどさまざまな材料があり表情も違います。

細かいビーズを一つ一つ糸に通していくと指輪や携帯ストラップ、ネックレスができていきます。作業中はみんな無口になりました。美しい作品が仕上がると、手作りの喜びも大きく、笑顔が広がりました。



参加者の声  
・ビーズをひろるのが大変だったが、ようやく慣れてきて楽しかった。毎回来しみて待ちどおしかった。これからは趣味として続けていきたい。いい作品ができてうれしい。  
自主グループ「Beads de トモ」を結成して、引き続き活動していくことになりました。

平成17年度  
女性センター未来利用者数

総数	15,760人
内訳	女性 13,728人
	男性 2,032人

平成18年度利用団体登録  
54団体 939人

パワーアップ講座のご案内  
福祉住環境コーディネーター講座

高齢者や障害者に対して住みやすい住環境を提案するアドバイザーが福祉住環境コーディネーターです。

医療・福祉・建築について体系的で幅広い知識を身につけて、専門職と連携をとりながら、適切な住宅改修プランを提案したり、福祉用具や諸施策情報などについてアドバイスをする資格です。

主な仕事は\*介護保険制度下での住宅改修に係るケアマネージャーとの連携\*福祉施策、福祉・保健サービスなどの情報提供\*福祉用具、介護用品から家具までの選択と利用法のアドバイス\*バリアフリー住宅への新築、建て替え、リフォームのコーディネートなどです。検定試験を受けて合格者に資格が授与されます。

講座の日程や申込等は5月号でお知らせします。

人権政策課男女共同参画係  
電話：0269-62-3111  
FAX：0269-62-5990  
(内線 371)

E-mail：  
jinken@city.iiyama.nagano.jp

いいやま女性センター未来  
飯山市大字飯山 1431  
電話・FAX：0269-62-0543

E-mail：  
center-mirai@city.iiyama.nagano.jp